



# 信太の森NEWS

NO 4  
2009年  
7月28日

## 信太山に里山自然公園を！

署名ご協力ありがとうございました

<b>要望署名提出</b>	7月14日
<b>団体</b>	61団体
<b>個人</b>	4,526名

和泉市が自衛隊と交換した土地に「スポーツ施設建設」等の開発計画（「北部公共事業整備事業」）に対し、「信太山丘陵の市有地を緑地保全地域に指定し里山自然公園として活用を計ってください」と呼びかけた「泉州の自然と文化財を守る連絡会議」「信太の森FANクラブ」は、7月14日、和泉市民をはじめ各地から寄せられた要望署名（団体61団体、個人4,526名）を新しく就任した辻宏康市長に提出した。

### 辻市長 「幅広く事業を見直したい」

提出には、泉文連から2名、FANクラブから会員である2名の市議を含む10名、大阪自然環境保全協会の事務局長も加わり、計13名が参加した。30分間という限られた時間であったが、「要望書」について以下の市長見解を得た。

- ①「要望書」の説明と4,500人を超える人々の願いに市長としての見解を求めると、  
「自然保護の観点で、（今までの）計画をチェックしたい。」  
「（交換した土地の）活用については、単にスポーツ施設とも思っていない。18万市民の代表として市民の声を聞き、市長として改めて（信太山を）歩き、幅広く事業を見直していきたい」
- ②「府緑地環境保全地域」の指定を受けて下さいという要望については



「即答はできないので、検討させていただく」  
③「里山自然公園としての活用については」

「里山として残していきたいという思いがある。全体をすべて公園として活用するかは、今後検討したい。」

以上、見解は具体的ではないが、事業計画の見直し、緑地保全地域の指定や里山自然公園化についての検討を確認した。

また、「要望書」を補足する意味で、泉文連の藤並氏は、「（ここは）文化財として惣ヶ池遺跡、黄金塚古墳、信太千塚、須恵器の窯跡など分布しており、調査はしっかりやってほしい」、自然環境保全協会岡氏は「『生物多様性基本法』が制定されている状況にかんがみ、その精神を生かし大阪府でも特別な位置にある信太山の生物多様性を減じないでほしい」と要望した。

### 信太山調査費が補正予算に

13日からの定例市議会で、信太山などの自然環境調査委託料（約191万円）が計上されている。市長就任後の指示と聞き及んでいたが、詳細は環境保全課が担当し、その内容、方法、調査期間、委託先などについては担当者を含めて改めて説明の機会を設けることとなった。

# 道路計画が急浮上 湿地の破壊が懸念

今回の定例市議会に於いて、「市道信太5号線・2号線」の測量・設計委託費600万円が補正予算として計上された。

この5号線については、今回、要望書で変更を求めた「北部公共施設整備事業」の中で、スポーツ施設などへのアプローチ道路として描かれ(図1参照)、今年の2月、担当課に問いただしたときも、「整備事業と一体のもの」と説明を受けていた。この道路(市道信太5号線)に深い注意を払うのは、道路の拡幅と直線化によって信太山でも代表的な湿地が壊滅的な破壊に瀕するからである。現在の道路は、途中かなりのカーブとなっている。(図2参照) ちょうど、小さな谷筋にあたり、それをさけるためにカーブせざるを得ない地形となっている。そこに小さな涵養湿地が残され、今年の春もカミサンショウオが育っている。7月10日朝日TVが信太山の希少種を報じたのもこのカミサンショウオであった。また、その南側に、信太山では比較的広い湿地が広がり、トキソウ、ミズギボウシ、カキラン、コバナノワレモコウなどが育っている。

「整備事業」の計画図では、まさにこの湿地を破壊する計画図となっている(図1A地点)。

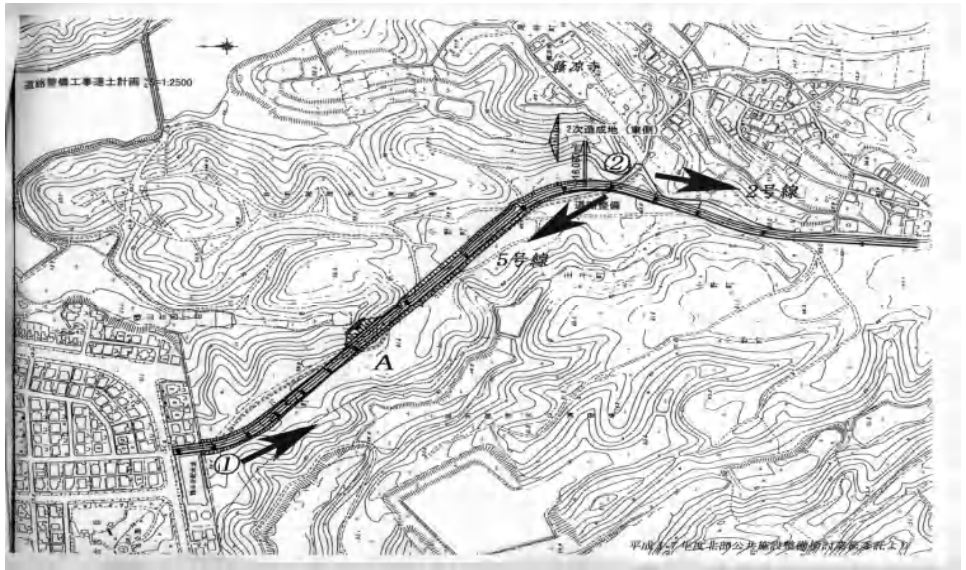
## (図1)

「北部公共施設整備事業」の道路計画図

(矢印など補記)  
—平成17年—

- ①～②までが  
信太5号線
- ②～  
信太2号線

Aの所に貴重な  
湿地がある

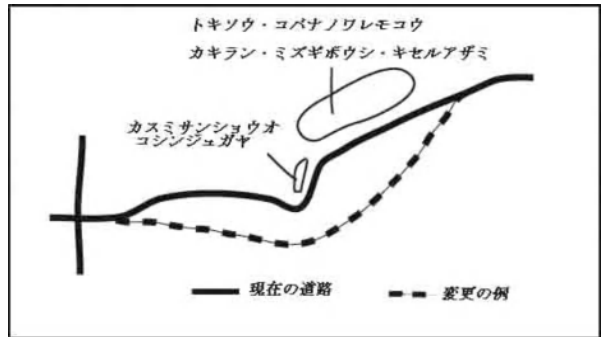


## 辻市長「十分調べ対応します」

市道信太5号線について、辻市長は「この道路はSゾーン計画(整備事業の仮称)とは別で、狭くて危険なので計画されたと思っている」と語り、湿地の保全に関係する事業とは認識していなかったと思われる。

私たちは、緊急に準備した「5号線に関する要望書」を提出した。要望の中身は、①湿地を保全するコースとすること。(例 2図破線)②湿地を破壊しない設計・工事・対策をとること③埋蔵文化財の調査などである。

市長は「今後よく調べて対応する」と答え、その第一歩として7月24日信太山の現地を視察することを約束した。



(図2) A地点付近の概略、実線は現在の道路  
破線は湿地を避けるためのコース案

## 要望書に賛同いただいた団体

(順不同)

文化財保存全国協議会、大阪自然環境保全協会、日本野鳥の会大阪支部、関西トンボ談話会、泉北教職員組合、泉北教職員組合鶴山台南小分会、泉北地区教職員組合信太小分会、ゆうの会、鶴山台西地区歩こう会、和泉防犯協議会鶴山台南校区支部、和泉もずの会、榎尾川ダムの見直しを求める連絡会、和泉メダカネットワーク、和泉防犯協議会伯太支部、吹田操車場遺跡・明和池遺跡の保存と活用を考える市民の会、ナツユラリスト敦賀緑と水の会、中池見湿地トラスト、バイボン畑、太一や、(株)オクジ、自然の権利基金がごしま、泉州沖に空港をつくらせない住民連絡会、西南通商、ブブ編集発行人、永田ファーム、Heaven HILL、野の花工房、ベニ花野草園、南溟寺、喫茶のん、坂口商店、かたつむりの会、おはやしシスターズ、ばじとうふう、誠進学センター、カフェ・ド・萌、カフェ食堂ナカムラ、とっかりの会、なんでやねん社、ひい坊家、フォーラム野幌の森、森・草原・オオジシギ、市民政策ネットワーク、美作賢治の楽交、自然食品点めぐみ、パン工房パンの木、石垣島白保に空港をつくらせない大阪の会、利尻島自然情報センター、グラスハーブ、ブラスト、蟲文庫、かぜのたより、レコードバージョーク、(株)ウエル、(株)GU企画、ルフランの会、NPO法人NCアソシエイツ、NPO法人ホットルームふくやま、野崎・飯盛の山と緑を保全する

会。

各団体のご賛同に深く感謝を申しあげます。  
泉州の自然と文化財を守る連絡会議  
信太の森FANクラブ

## 1ヶ月で700名の署名が！

### —FANクラブ会員の体験から—

私も非力ながらFANクラブの署名運動に協力させて頂いた。

当初は正直若干躊躇していた、と言うのは運動施設などの開発を望む声があるのではと？！。

また市内の友人知人には建設・土木関連に従事している仲間もいる。彼らの経済効果を考えると一方的に開発反対の署名を頼めないかも？・・と！

・・が、まず行動ありきだと2人に1人、半分の協力者があるならそれでも十分！。

私は、本件内容を簡単に説明しながら署名協力をお願いした。

結果、約1ヶ月で700名の署名が集まった。私が直接お願いしたのは40数名程だが・・・。

心配した開発賛成論者はなんとゼロ！もとJC青年会議所の経験者も、

「ああ・・前々市長時代にそんな話があったな～」と、私が「無理か！」と聞くと、

「いやいや信太山の自然は残したほうがいい！」と笑顔で署名！その他多くの署名を集めてくれた。

(匿名希望)

## 信太山の夕陽」 作詞・作曲 廣石雅信

巣にかかったイナゴに走り寄る蜘蛛  
小さな虫に齧り付く三角顔のカマキリ  
すばやくバッタに跳び付き 一飲みにするトカゲ  
一羽の雌争そって 羽根傷付け合うムクドリ  
生きていく為の当たり前のことなのに  
目の当たりにするとやっぱり胸が軋む

だが自分の食い扶持だけ後は見向きもしない  
まして人間みたいに 皆殺しなんて思ってもみない

小櫓の向こうに日が沈む 全て包み込んで  
オレンジ色に染めていく なんて綺麗なんやろ



7月12日の例会で、信太山に魅せられた話の後、ギターとハーモニカの伴奏で歌う廣石氏

# 辻市長 信太山を視察 7月24日

7月24日、辻宏康市長は環境保全課、河川道路課の職員それぞれ2名を従えて信太山丘陵の現地視察を行った。案内は信太の森FANクラブらの6名が務めた。

視察の主たる目的は、信太山丘陵の市有該当地の現状認識、中でも点在する湿地の状態を把握したいということと、突然浮上した信太5号線の予定地と破壊が懸念される湿地の現状確認であり、市長の「歩いて確かめる」ということの実践であった。



道路近くの湿地を調べる市長(中央)

この時期、トキソウ、カキランはすでに花の時期を過ぎ、サギソウはまだ早く、7月末の信太山湿地群の花は少ない。わずかに、コモウセ

ンゴケの小さなピンクの花が数ヶ所で咲いているのみであった。



コモウセンゴケ

それでも、市長は小さい花にカメラを向け、愛おむむように幾度かシャッターを切っていた。

また、市道5号線の拡幅・直線化で破壊が懸念される湿地では、コバナノワレモコウが大阪のRDBで絶滅の危険が増大している絶滅危惧Ⅱ類に指定されており、府を代表する植生地であるとの説明を聞き、「このまま残し、道路からも観察できたらいい」と感想を述べた。

## 「なんとか残していきたい」

約2時間であったが、ネザサの草原、当該市有地と一帯をなす惣ヶ池湿地の景観、赤松やコナラに続く里山の小径、大野池の水辺の景観など駆け足でまわった。

「市長、感想はどうですか」と尋ねると、「思っていた通りだった。何とか残していきたい。」と述べた。

それ以上の回答は得られなかったが、今回の目的である現状認識に一步でも近づいたのではないかと確信した。何よりも市長就任早々、議会開催中の激務の中で信太山に足を向けた行動の姿に今後の期待を懸けたい。(文責花田)

### シンポジウム 準備中 仮題「信太山の保全と活用」

とき 09年10月18日(日)  
ところ 和泉市立鶴山台南小学校  
体育館

主催：関西自然保護機構、大阪自然環境保全協会、大阪みどりのトラスト協会、信太の森FANクラブなど(調整中)、  
詳細は後日発表

### 第1回 信太の森FANクラブ写真展 「私の好きな信太山」

とき：7月25(日)～8月23日(日)  
10:00～17:00 休館：月曜日

ところ：信太の森ふるさと館  
和泉市王子町914-1  
TEL0725-45-0605

アクセス：JR阪和線北信太駅 徒歩15分  
バス 北信太駅筋～鶴山台センター